一般社団法人 日本脊椎脊髄病学会

2021 年度第 6 回データベース委員会　議事録

日時:2021年11月10日(水)　 20:00～21:00
場所:オンライン会議(Zoom)

出席委員（敬称略）：筑田（担当理事）、金村（委員長）、岩崎、大鳥、細金、吉井、海渡、山田、上田、今釜、町野、渡邉、有馬、藤田（アドバイザー）、高橋（ファスト）、種市（アドバイザー）、波呂（アドバイザー）、渡辺（アドバイザー）
欠席委員（敬称略）： 石井、松山（アドバイザー）

報告事項

1. 理事会報告　筑田(担当理事)
   11月1日にJSSR-DBが開始された。順調にスタートできたが、問い合わせが多いため、事務局用のレンタルメールサーバーを準備することが理事会で承認された。
2. 前回議事録の確認　資料1
3. JSSR-DB 2021 進捗状況　資料2,3
   1）システム構築進捗
   - レジストリシステム改修状況
     - ✓ 登録手術対象期間以外は調査票「JSSR-DB」をグレーアウトし選択不可に変更。（開始から数日はフィルターがかかっておらず、対象期間外でも調査票を登録できるようになっていた。）
     - ✓ 操作の欄に「削除」ボタン（論理削除）設置（当初は医長の権限による完全削除のみしかできなかった。）
     - ✓ 調査票名：「脊椎インストゥルメンテーション手術」→ 「JSIS-DB連携」へ変更
   - 紙調査票

- ✓ 紙調査票を作成し、JSSR-DB HP上に公開。問い合わせ内容に応じて、適宜内容をブラッシュアップしている。現在は簡易版1.4版、詳細版1.0版
- ✓ PDF & Excelで作成し、ホームページにアップロード済

- ➢ JSSR-DB HP
  - ✓ システムの更新状況に関しては、適宜JSSR-DB HP上の「お知らせ」に記載。
  - ✓ JSSRホームページ上のJSSR-DB HPバナーリンクが見にくい。
    →改修方向で進める（次回理事会で審議）。
- ➢ JSSR-DB事務局問い合わせ
  現在までに112件あり。JSSR-DB事務局用のレンタルメールサーバーを作成し対応する。
- ➢ 今後のタスクリスト
  - ✓ 202 1 年12月上旬に2022年度JSSR-DB研究計画書を日整会レジストリー委員会に提出
  - ✓ 2022年1月31日　JSSR-DB 2021年度の登録締切を予定しているが、延長になるかもしれない。今後の経過を見ながら検討し、決定すれば皆さまに周知する。
  - ✓ 2022年4月からJSSR-DB2022を開始する予定。

2）ステージング環境の確認

審議事項

1．2021 年度データクレンジングについて 資料4

- ➢ JOANRデータクレンジングの項目とフローを確認。
- ➢ JSSR-DB 2021 年度データクレンジング（案）
  - ✓ 2F の術式と病名（部位）の整合性
  - ✓ 合併症内容（手術部位と合併症部位等）。どこまで行うかは今後の検討課題。
  - ✓ データクレンジングフロー（案）

  1. JSSR-DB 事務局にてデータダウンロード（今後はクラウド環境になる予定）と振分
  2. JSSR-DB 事務局3 名によるデータクレンジング

  ＊データクレンジングWGの要否（2022 年度以降は必須の予定）

3. 判断出来ない場合はJSSR-DB WG会議審議
4. 疑義照会と判断されたデータを各施設へフィードバック（事務局）

２．JSSR-DB 2022 年度の方針　資料5

- 登録対象期間の決定
  - ✓ 通年の方向（2021年10月の理事会で、JSSR-DBがスタートして大きな問題なければ通年で行うことで確認済）
    本委員会の審議で委員の大多数の賛成により、JSSR-DB 2022 年度は2022年4月から通年で行うことが決議された。今後、理事会での承認を経て正式決定となる。
- 今後の指導医資格との紐づけ等は指導医制度委員会で要検討

３．JSSR-DB 事務局業務と費用　資料6

- JSSR-DB 運営（JSSR-DB サポートデスク業務、JSSR マイページ所属施設登録システムのマスター更新、JSSR-DB HP の運営、JSSR 参加施設（常勤外）受付、確認、業務マニュアル、運営マニュアル作成）、データクレンジング、データ解析
- 上記の人件費（フルタームの事務員2人分の試算）年間624万円必要
- システムの改修費、JOANRの分担費用
- 上記を含めてJSSR-DB 運用費用として年間1000万円が必要。
- 資料を添付して財務委員会に提出する

４．頚椎人工椎間板DB 2022 年度方針 資料7

- 頚椎人工椎間板 1 椎間
  - ✓ 現行レジストリー：新規施設登録は2021 年12 月で一旦終了
    2022年3月31日まで症例登録
  - ✓ 2022 年4 月よりJSSR-DB 2F の調査項目に含んで開始
    （＊3F としてのDB 構築 2022 年度は行わず）
  - ✓ 調査期間 1か月（現行レジストリでは2 年）
  - ✓ 調査項目の確定 2022 年1 月末日まで
  - ✓ 今後の課題：モニタリング方法、頚椎人工椎間板 2 椎間、ハイブリッド症例

５．OLIF51DB 2022 年度方針 資料8

- プロクター施設100例でのOLIF51手術の論文化
- 今後のOLIF51症例登録について

- ✓ 現行レジストリーを使用。全ての施設（プロクター施設と今後開始する施設）で来年の4月から登録期間2年、フォローアップ期間2年で登録する。

- ➢ 現在のOLIF51 事務局（千葉大）での体制では難しいので、JSSR事務局へ分業もしくは，移管の依頼をしたい。→OLIF51 事務局（千葉大）での事務員人件費をJSSRに請求する方向で検討。

6．ACR DB 2022 年度方針

- ➢ ACRは現行のレジストリーを使用したまま、一般にオープンする予定
- ➢ 将来的には、JSSR-DBのレジストリーで合併症調査を行う

7．JSIS-DB との2022 年度からの連携 資料9

- ➢ 入力者負担の軽減の観点から二重登録の回避が必要
- ➢ JSSR−DB ＆ JSIS-DB水平連携を進めていく。

→本委員会の審議で委員の賛成多数で承認を得た。

- ➢ 2021年12月中旬JSSR-DB & JSIS-DB 合同委員会を行う。

次回開催日

12 月 8 日（水）19 時～